

大阪・広島そして沖縄

【主題】

平和学習を通じ豊かな人間性や社会性を育てる

【内容】

- 1年生 地域における戦争の聞き取り学習を行い、ピースおおさかの見学学習会を実施する。
 - 2年生 原爆についての学習を行い、その後、広島1泊移住において平和記念館・広島市内フィールドワークを実施する。
 - 3年生 沖縄修学旅行において、ガマ体験や、戦争体験の聞き取り・米軍基地の見学学習を実施する。
- 3年間を通じた平和学習で、平和を愛する態度を形成することにも、問題を非暴力で解決する方法を学び、相手の立場を理解する責任ある態度を身に付け、豊かな人間性や社会性を育てる。

1年生

地域における戦争学習では、墓の調査や大阪大空襲の聞き取り調査などを行い、ピースおおさかでは、大阪の街が空襲によりどれだけの被害にあったのか、また大阪に在った軍事施設についてなど調べ学習を行い、戦争の愚かさ・命の尊さなどについて学んだ。



特に地域の墓調査においては、戦死された方々の墓が並び、大阪から出兵した人がどこで戦死されたのか、墓標に刻まれた戦地名や、何歳で亡くなっているのかなどの調査を行い、多くの人が20歳台の非常に若い年齢で亡くなり、フィリッピン方面で戦死されたこともよく判った。

2年生

原爆について、広島・長崎に投下された経緯や、大阪に落とされた原爆の模擬弾の話など様々な資料を基に調べ学習を行った。その調べ学習した資料を基にして広島でのフィールドワークを実施した。資料での内容と現地資料館で見るとではやはり迫力が違い多くの生徒が原爆の破壊力のすごさに圧倒され、展示物の前から動けなくなった生徒もいた。

また、本校の平和学習の取り組みや地域の保育所・小学校から預かった千羽鶴を、原爆の子の像に奉納し、二度とこのような悲惨な惨劇が起こらないようみんなで祈りをささげた。戦争体験講話においては、幼少時に被爆された方より実際に体験された当時の様子やその後の原爆病との闘いなど、生々しい体験談を聞くことができ命の尊さや平和のすばらしさを再認識させられた。

来年度実施する沖縄修学旅行に向け、すばらしい平和学習が実施できた。



原爆の子の像に奉納した千羽鶴

3年生

中学校3年間の平和学習の総まとめということで、沖縄修学旅行を実施。日本で唯一地上戦がくり広げられた場所であることを認識し、戦争体験者の生の声を聞き、ガマの中を見学した。あらためて戦争の悲惨さと命の尊さを学んだ。



又ヌマチガマへの入り口付近

しかし、アメリカの軍事基地を見た時には、いまだ達成されない世界の平和に、今後自分たちがどのように取り組んでいけばよいのか、自問自答している生徒も少なくないようだ。

【おわりに】

本校では平和学習に力を入れており、本年度は「平和学習を通じて豊かな人間性や社会性を育てる」というテーマの設定で、中学校生活3年間一貫計画に基づき、体験学習を実施している。地域の取り組みから始まり徐々にエリアを広げ、生徒各自が考えながら協力し合い、様々な角度から、(調べ学習・聞き取り・フィールドワークまとめ発表)テーマを掘り下げ、自分自身の物とする取り組みを実践している。特に文化祭で行なう舞台発表には、この体験学習で身に付けた内容の劇を担当の先生と一緒に考えて発表するクラスもあり、見学に来られた来賓、保護者や地域の方に感動を与えている。このような取り組みや体験が近い将来彼らが社会の一員となった時に、よりよき社会の実現に向けたエネルギーになるものと確信している。